

野生動物との共存を目指す

WILCO

株式会社 ういるこ



野生
動物



共存

野生動物との共存を目指して



株式会社ういるこ
代表取締役 山本 麻希

株式会社ういるこは **Wildlife** と人との **co-existence** を目指し、その間に生じる課題を解決するために設立しました。

獣害対策の技術はある程度確立されており、正しい対策を実施さえすれば、被害を抑えることは可能です。しかし、近年、中山間地域での過疎・高齢化が進み、野生動物の対策を行う労働力が不足し、被害対策を維持できない状況となっています。動物と人間の緩衝地帯としての役割を担う中山間地域の農村が消滅すれば、動物のすみかは、さらに人里に近づいてきてしまうため、交通事故や人身被害が今よりも増加してしまう可能性があります。

私たちういるこの目標は、

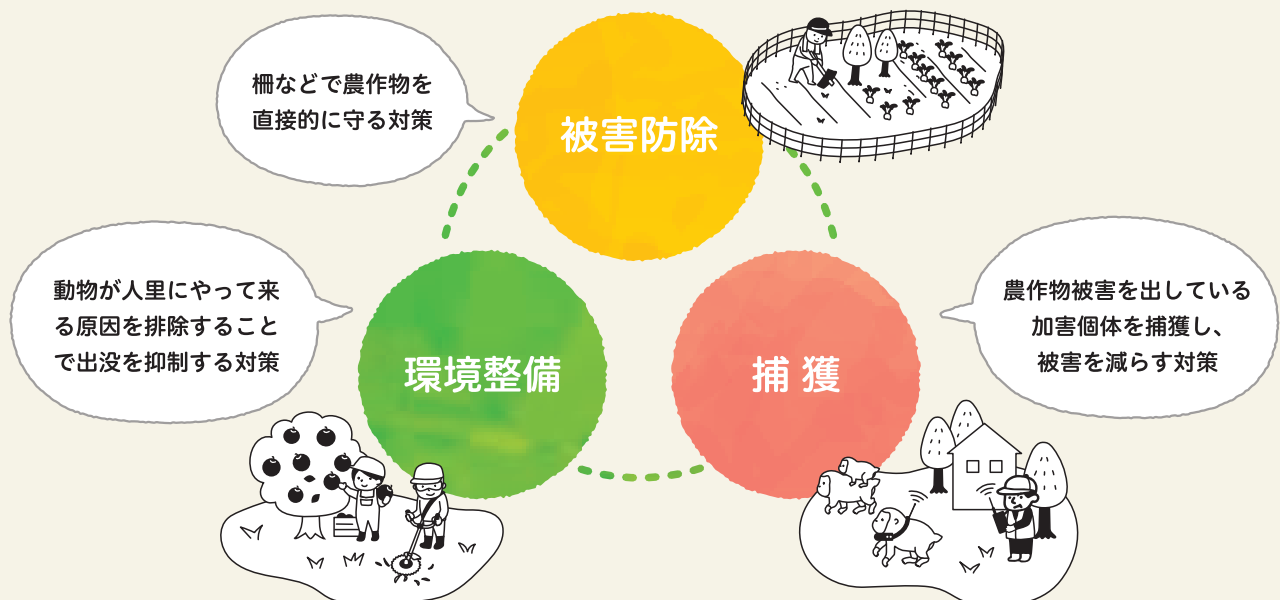
「人々は農村・市街地で安心して暮らし、野生動物は奥山で暮らす」

という共存です。

このようなゾーニングを実現するため、中山間地域の農村の消失を食い止めたいと考えています。そのためにも中山間地域における農村地域の活性化やそのベースとなる鳥獣被害対策、そして、市街地における人々の安全を守る市街地対応など、鳥獣と人の間に生じるさまざまな問題を解決するプロ集団として、皆様を支援させていただきたいと考えています。

ういるこの獣害対策

全国各地、出没する動物や環境は異なりますので、その地域に合わせて「被害防除」「環境整備」「捕獲」の3つの対策をバランスよく実施することが重要です。ういるこは各分野のエキスパートが在籍しており、これらを総合的に支援できます。



事業一覧

その他、特定の獣種やスキルに対する研修会が開催可能です。
まずはあなたの課題を教えてください！

解決する課題	事業名	カテゴリ	概要
<ul style="list-style-type: none"> ●自治体担当者のスキルを向上したい ●住民に基本的な獣害対策を教えたい ●より専門的な技術を学びたい ●市街地出没に備えた対策を学びたい 	研修会 勉強会	被害防除 環境整備 捕獲	<p>指導者養成研修…都道府県や市町村の獣害対策担当職員に対して、座学およびフィールドワークを通じて獣害対策の基礎を指導します。</p> <p>獣害対策勉強会…住民に対して、その地域の特性を踏まえた注意事項や自分でできる獣害対策をお伝えします。</p> <p>市街地出没対策研修…野生動物の市街地出没に備えた資材の用意、行政機関の連携、出没時の対応など一連の対策を講義で指導します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●集落の獣害リスクや課題を整理したい ●集落単位で住民の合意形成をしたい 	集落環境 診断	被害防除 環境整備 捕獲	<p>集落環境診断…集落単位の総合対策戦略づくりを住民参加で行います。共通認識や一体感を重視するため、複数回にわたって継続的にご支援します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●農地を守る防護柵の設置方法を教えたい ●防護柵をお試しで触ってみたい ●柵の維持管理の方法を学びたい ●柵が正しく張れているか見てほしい 	柵関係	被害防除	<p>防護柵設置研修…防護柵の正しい設置方法を伝える、座学と実習を組み合わせた研修会です。</p> <p>防護柵維持調査…現状の柵の状態をチェックし、維持管理するためのポイントをお伝えします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●くくり罠を使った捕獲を学びたい ●罠をかけるが捕まらない ●見回りや止め刺して危険があった ●地域の捕獲人材を育成してほしい 	捕獲関係	捕獲	<p>足くくり罠捕獲研修…参加者のレベルに合わせて足くくり罠を使った捕獲の技術を教えます。</p> <p>見切りコース…罠の具体的な場所選びやカムフラージュ技術を現場で学ぶ「見切り」に特化した研修です。</p> <p>設置特化コース…罠選びや失敗しにくい「設置」の方法を学ぶ研修です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●野生動物による被害を調べてほしい ●生息状況を調べてほしい ●住民アンケートをとりたい 	調査・分析	被害防除 環境整備 捕獲	<p>生態調査…ベイズ推定を用いた個体数推定、動物の行動調査、胃内容物分析など様々な手法を使って野生動物の生態を調査します。</p> <p>被害把握…アンケート調査やカワウの食害推定を実施し対策に繋がります。</p>

02~03
ページ

04~05
ページ

06~07
ページ

08~09
ページ

10
ページ

【その他の例】

- 自治体の計画立案を支援してほしい
- 電気柵資材、捕獲用資材がほしい
- 公園やゴルフ場の動物をどうにかしたい
- クマの出没に備えたい…etc

野生動物の専門家が
あらゆる悩みに応えます！
上記以外のご依頼も
お待ちしております。

価格は以下をご参考ください
<https://www.wilco.company/price>



集落環境診断事業

集落環境診断事業とは

専門家・行政・集落住民・捕獲者等の獣害対策に関わる方と住民主体の総合的な獣害対策を考える方法です。集落環境診断では、現地の被害状況の調査や被害原因の分析の結果から話し合いで対策を立案していきます。

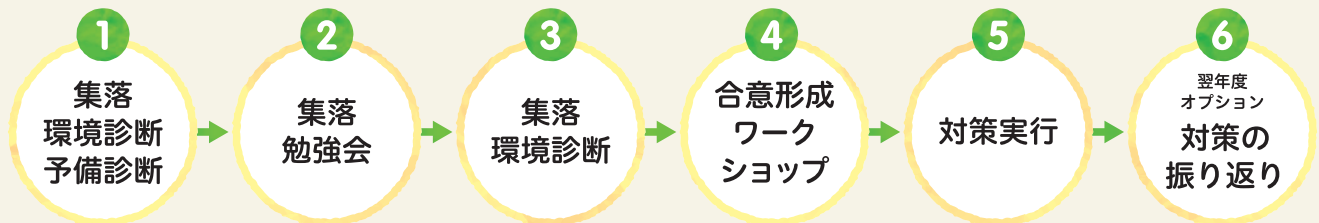


診断はなぜ必要？

被害対策を立てる際に診断を行うことで、行政担当者・住民・有識者など、その土地や現地のことを知っている人とあまり知らない人との共通認識ができます。そうすることで一体感が生まれ、より効果的な対策ができます。

集落環境診断事業のながれ

住民ぐるみの獣害対策をすすめるため、現地の被害状況の把握、被害の原因の分析、対策の立案を行うために集落環境診断事業を行います。現地を専門家と歩きながら鳥獣に狙われているポイントを調べ、その対策をWSで決めていきます。



鳥獣管理は人間管理!?

集落環境診断の位置づけ

例) 医療行為…医師が行う



鳥獣被害対策…鳥獣被害対策指導者が行う



集落環境診断は、捕獲や防除柵のような「動物に効く対策」ではなく、集落住民や関係者などの「人間に効く対策」です。

住民の意識や気持ちを変えるためには、正しい知識を知り、集落の現状を自身の足で調べ、それを他の住民と共有して、みんなで対策を考えることが必要です。

この集落環境診断の行程は、弊社が試行錯誤を重ねて作りあげた、住民主体となった取り組みを促すための「必要不可欠かつ最も効果的なメソッド」です。

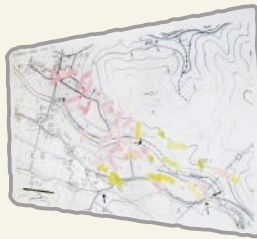
集落環境診断事業 各STEP



まずは行政担当者と専門家が集落の状況を知ることが重要です。また、限られた時間で集落を調査するためには、対策上のポイントを押さえたコース設定も大切です。



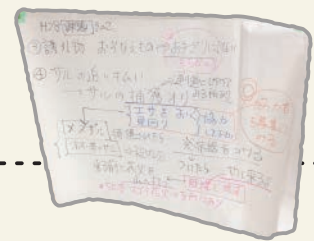
鳥獣被害対策は「順番」と「バランス」が重要です。正しい知識がないまま対策を始めてしまうと、被害を減らすことができないリスクがあります。集落の住民が正しい知識を持っていることが、集落環境診断を成功させる前提です。



チェックリストを利用しながら被害地・被害動物の把握・被害集落の環境調査を実施します。それらを参考にし得た情報を地図に可視化します。



調査結果の地図を見ながらワークショップを行い、実際に行う対策に優先順位をつけます。



実施した対策を振り返り、出来た事や改善したい事、次に行う対策を話し合います。

防護柵設置研修

防護柵設置研修とは

農業者に対して

- 鳥獣に関する正しい知識（特に防除という対策についての考え方）
- 防護柵を圃場に設置する時の注意点を伝え、

防除技術を提供する、座学と実習の普及啓発です。



こんな困りごとありませんか？



農地を守る防護柵の設置方法を教えたい

防護柵の資材だけあっても被害はなりません。動物の生態を理解し、生態にあった設置・管理をすることで初めて効果を発揮します。



防護柵をお試しで触ってみたい

実際の柵をご用意して、設置や管理のコツ、複数獣種に対応する場合の工夫等をご紹介します。

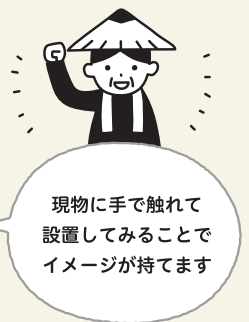


期待できる効果

防除対策への理解促進・意欲向上

防護柵支援事業の普及促進

行政サービスに対する満足感向上



現物に手で触れて設置してみることでイメージが持てます

現物に触ることで、導入できる／できないを適切に考えられるようになります

研修メニュー

設置する防護柵に対応した鳥獣の生態、防護柵を中心とした対策手法についての座学と実習を行います。

座学
1時間



実習
2時間



防護柵機能調査

防護柵機能調査とは

導入後の防護柵の管理状況を確認し、今後に向けたご提案をさせていただき調査事業です。交付金や市単導入された防護柵を主な対象として実施しています。



こんな困りごとありませんか？



交付金や市単で支援した柵が正しく活用されているか心配

会検や8年更新のために柵導入後の実績を評価したい。



柵導入後のフォローをどうしたら良いか分からない

柵が正しく張れているか見てほしい。



期待できる効果

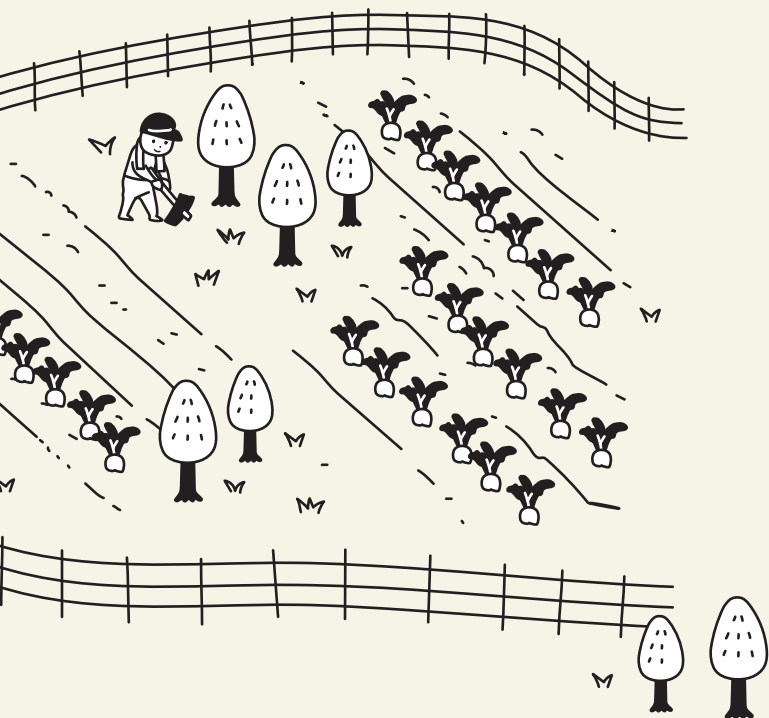
調査結果の
診断カルテ



専門家の目線で柵を確認し、改善点を記録した診断カルテを柵ごとに作成します

今後の
取り組みに
向けた報告書

管内の状況を踏まえ、今後の防除計画や取り組みについての提案を記載した報告書を作成します



破られるリスクのある柵の貼り方

侵入ルート



足場/凸凹/傾斜/絶縁体

漏電



ポール/ライン/雑草/その他

作物からの漏電



断線



ゲートの配線不良



ゲートのすきま



足くり罠捕獲研修

見切りコース

イノシシやシカの捕獲従事者の方に対して、

- 捕獲率の高い罠道選び方
- 安全を考慮したくり罠の設置場所の選び方

について、研修します。

期待できる効果

捕獲率の向上

イノシシの生態を考慮し、具体的な設置場所選びから設置、カモフラージュの技術をご説明します。

錯誤捕獲の減少

錯誤捕獲しにくいくり罠の設置の仕方や錯誤捕獲しにくい罠道選びをお伝えします。

安全意識の向上

見回りや止め刺し時の安全を考えた設置と場所選びをご説明します。



こんな困りごとありませんか？



罠をかけたがイノシシが来ない、かからない

イノシシには季節によって使用する罠道が変わります。



イノシシ用の罠で他の動物が捕れてしまう

罠道はいろんな動物が使っています。なるべくイノシシだけが使っている罠道を選ぶ必要があります。



足くり罠の見回りや
止め刺しで危険なことがあった

わな猟で最も事故が起きやすい場面は止め刺し時です。罠選び、場所の選定、設置の時点で、イノシシがかかった後の、見回りや止め刺しの安全を考えて設置する必要があります。

設置特化コース

イノシシやシカの捕獲従事者の方に対して、

- 失敗の少ないくり罠の設置の仕方
- イノシシにばれにくいくり罠の設置の仕方

について、研修します。

期待できる効果

空はじきの減少

イノシシがくり罠を踏んだときに、失敗しにくい設置の仕方を普及します。

公的捕獲への理解の促進

被害を減らすための捕獲とはどういうことが普及啓発を行います。

動物にばれにくい設置技術の習得

動物に罠があることを見破られにくいくり罠の設置の仕方を普及します。



こんな困りごとありませんか？



イノシシ・シカが罠を避ける、掘る

普段と違う見た目、匂いがすると、動物は避けて歩いたり気になって掘ったりします。



空はじきが頻発する

罠を危険なものとして学習した個体はほとんど捕まらなくなってしまいます。

箱罾によるイノシシ・中型獣の捕獲研修

研修内容

- 罾選びのポイント
- 設置場所の選び方
- イノシシ用箱罾のトリガーのカモフラージュ方法
- エサの置き方や量
- 捕獲時に起こりうる事故が起きないための注意点等をお伝えする研修です。

箱罾は、動物に罾が危険だと学習させやすい猟具です。運用方法を誤ると、二度と捕獲できないスレ個体を増やしてしまいます。箱罾に入らない個体が出てきたり、幼獣ばかり捕獲されている場合、学習されている可能性があります。動物に学習される前に研修の実施をおすすめします。



捕獲人材育成

研修内容

地域の捕獲者に指導できるスペシャリストを育成する研修です。

- 見切り
- 設置
- 安全な見回り
- 環境づくり

(来年度設置する場所をあらかじめ作っておく)
などの技術をマンツーマンで教えます。

捕獲人材育成のプランの例

10日間マンツーマンで、罾の見切り、設置、環境づくりを指導します。

罾未経験者でも、イノシシの痕跡の探し方、獣道の探し方、罾設置場所の見切り、地形や環境に合わせた罾の設置など、参加者の学習ペースに合わせて、指導します。



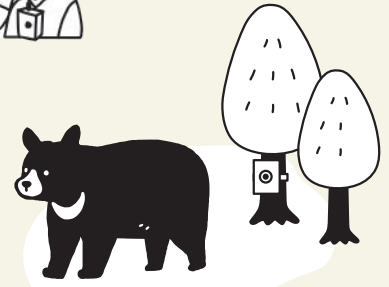
野生動物調査業務

生態調査

野生動物保護管理に関わる、各種生態調査を実施します。
生息状況確認（痕跡調査等）、個体数推定（ベイズ推定等）、
行動調査等が対象です。

こんなお悩みに
応えます

- 鳥獣の管理指針を決めるために、
個体数推定を実施したい
- 被害状況を詳しく知るために、現
地の調査を行いたい



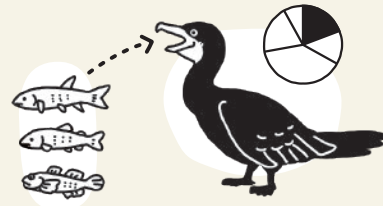
被害把握

野生動物保護管理の基礎情報となる文献の収集や、被害
把握のためのアンケート調査、食害推定を実施します。
(獣種・手法等は要相談)

こんなお悩みに
応えます

- 近隣で行われてきた鳥獣対策の基
本情報をまとめてほしい
- これまでの対策状況を、分かりや
すい資料として残したい
- 食害把握のために、動物の検体か
らデータを採取したい
- 被害状況を把握して、今後の対策
方針を考えてほしい

その他、
ご相談いただいた内容に応じて、
最適な調査手法や調査指針を
ご提案いたします。



コンサルティング



こんな困りごとありませんか？



- 対策の方針が決まっていない
- 行き当たりばったりの対策になっている
- 何から始めたらいいか分からない

担当市町村の現状に合わせて対策の計画立てをお手伝いします。

上記以外でも、
お悩みに合わせて
対策立案のお手伝いを
させていただきます。



対策の効果が出ているのか分からない

被害額だけではなく、対策を行う前後で出没頻度や住民の被害感情をアンケート調査し、対策の効果を検証します。



サルに発信器がついているが、
データを活用できていない

データを地図上にまとめ、サルの行動パターンから次の対策案を提案します。

お客様の声



行政職員
の方からの声

指導者養成研修
受講

- 自分も最近、わな猟資格を取ったばかりであるところ、今回の研修で実用的な説明を頂き、どのような対策・活動をしていけばいいのかヒントを得られた。
- 講義が大変勉強になりました。行政としてどういった役割を果たすべきなのか、再度考え直したい。



地域住民の
方からの声

イノシシ・シカの
生態と対策勉強会
受講

- 講習はとてもわかりやすく、聞き取りやすかったので大変よかった。
- 自分の住んでいる地区でも行ってほしい。



行政職員
の方からの声

防護柵設置研修
受講

- 実際に自分で設置してみてなかなか難しいことが分かった。現地指導できるよう継続して研修を行ってほしい。(職員も異動でかわるので)



捕獲従事者
からの声

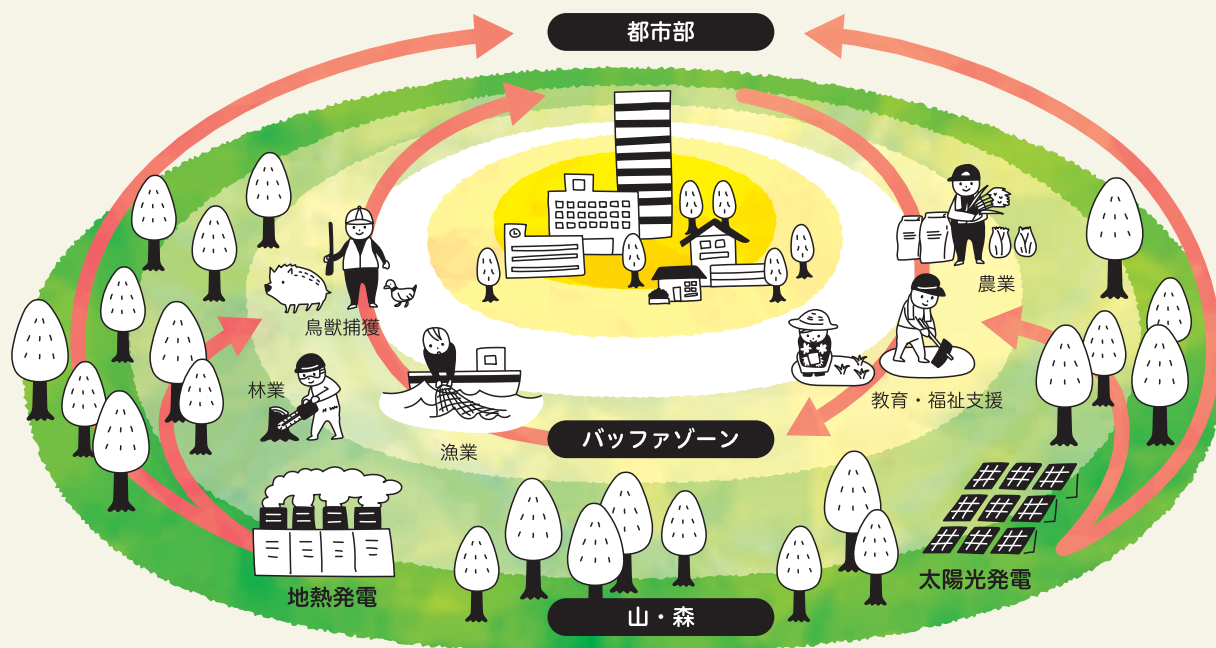
初心者

捕獲人材育成研修
受講

- 今までくり罠の技術を誰から習えばいいか分からなかった。すべてが参考になった。



中核都市と中山間地の利用を取り入れた ゼロエミッション都市



事業実績（2022年度）

【研修事業】

- 勉強会／研修会（市町村） 13案件
- 勉強会／研修会（都道府県） 4案件
- 勉強会／研修会（学校） 1案件

【研修事業】

- 調査分析（カワウ、ツキノワグマ、ニホンザル等） 9案件
- 電気柵指導 10案件
- 捕獲指導 12案件

【その他】

- シカ被害対策
- 公園の安全対策
- 物販
- メディア出演 など多数。

会社概要

事業所名 / 株式会社ういるこ
 設立 / 2018年5月24日
 代表者 / 山本 麻希
 本店所在地 / 〒940-2127 新潟県長岡市新産4-1-10
 NARIC 201号室
 拠点都市 / 新潟、東京
 対象地域 / 全国
 事業内容 / 野生鳥獣被害コンサルティング、野生鳥獣被害対策支援事業

社会的インパクト評価

弊社ホームページで社会的インパクト評価についての情報を公開しています。

Wilco

株式会社ういるこは、野生鳥獣被害対策のプロとして、人と野生動物との共存

Wildlife co-existence

ういるこ
を目指しています。



ういるこはSDGsを達成するための取り組みを推進していきます。